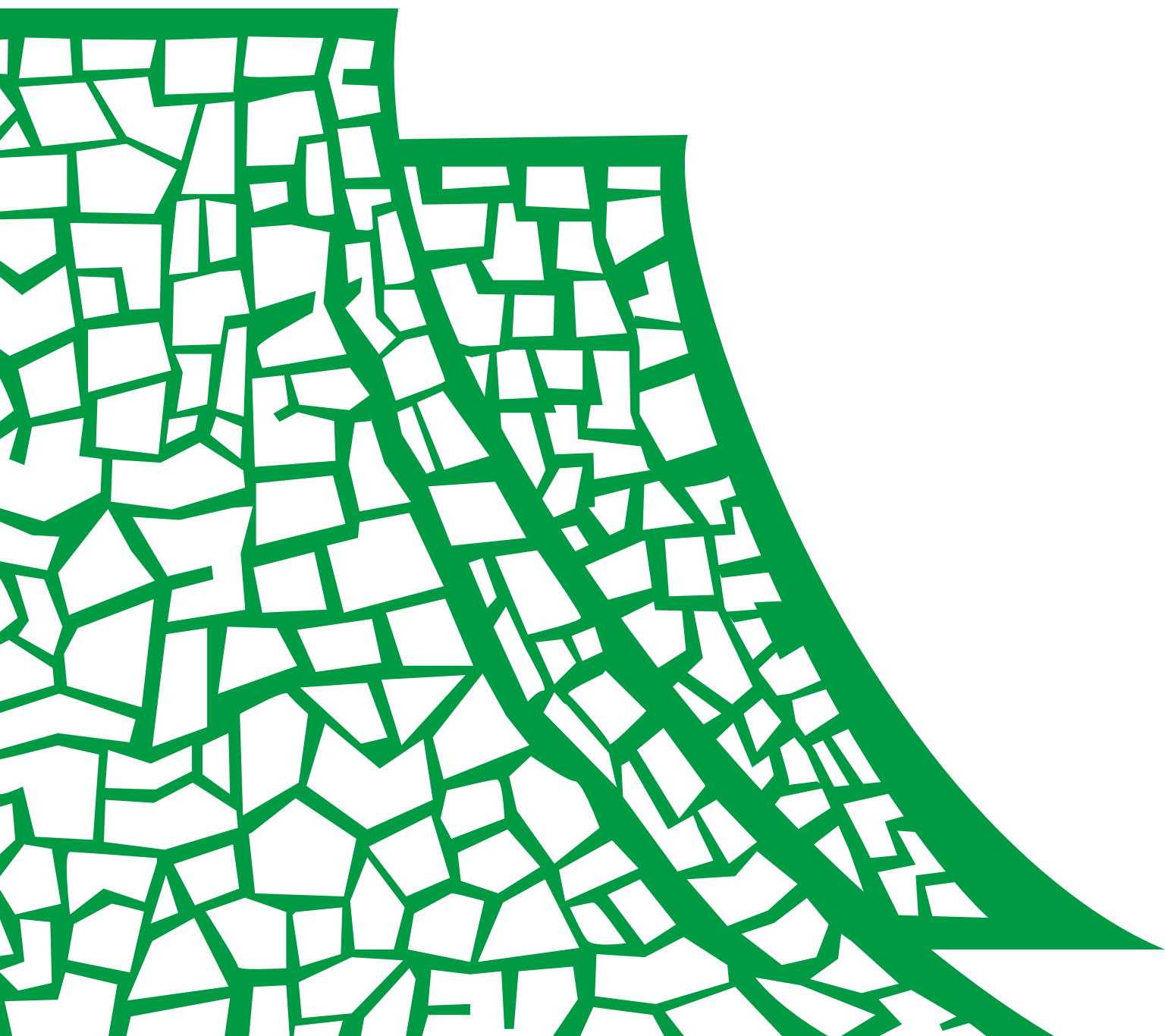


人とまちが元気になる 文化創造都市をめざして

熊本市文化芸術振興指針 概要版



策定の趣旨

文化芸術は、私たちに喜びや感動、心のやすらぎをもたらし、人生に潤いを与えてくれるものであると同時に、豊かな感性や創造性を育み、人間形成にも大きく影響を及ぼすものです。

本市では、平成15年3月に熊本市文化振興計画を策定し、さまざまな取り組みを進めてきましたが、社会情勢が大きく変化する中で、社会や市民ニーズの変化に対応する新たな文化芸術の振興が求められるようになりました。

そこで、今後の本市の文化芸術を振興するうえでの目標とその実現に向けた取り組みの方向性を明らかにし、心豊かな市民生活を実現するとともに、本市の活力と魅力を高め、「文化力」により評価される都市をめざすため、「熊本市文化芸術振興指針」を策定するものです。

理念と取り組みの方針

市民、民間団体、地域、企業、行政など多様な担い手が主体的に文化を創造し、将来にわたって継承していくには、そのための人づくりや、その活動の舞台となる都市(まち)づくりが必要です。

また、政令指定都市移行に向けて、これまで以上に都市としての活力や魅力を高めていくことが求められています。

そこで、文化芸術の振興を主な目的とする従来の「狭義の文化政策」から、教育や福祉の充実、産業の活性化、地域の再生など様々な分野において、文化芸術の持つ創造性を活用しながら、これまでにない成果を得る「広義の文化政策」へと展開していくため、今後の熊本市の文化芸術振興における基本理念を

「人とまちが元気になる文化創造都市の実現」

とし、次の3つの方針に基づき、市民、民間団体、地域、企業、行政などの様々な主体がそれぞれの特性を活かして、連携・協働しながら、取り組みを進めます。



文化芸術活動を活発化し、 市民の文化力を高める

♣は熊本市が、♥は市民及び民間団体が取り組むこと

目標 1 文化芸術にふれる機会を充実させよう (文化芸術鑑賞機会の充実)

市民一人ひとりが生きがいを持ち心豊かな生活を送るため、身近なところで多彩な文化芸術にふれる機会を充実させます。

また、利用者のニーズに応じて必要な文化芸術の情報を得ることができるよう効果的な情報収集・発信に取り組めます。

【主な取り組みの例】

- ♣♥ ホール、美術館等の文化施設や地域において、文化芸術に身近にふれる機会をふやす。
- ♣♥ 子どもや青少年の文化芸術に対する関心を高めるため、学校におけるコンサートやワークショップなどを行う。
- ♣♥ 文化イベント、会場、指導者や活動グループなど様々な文化芸術に関する情報をニーズに応じていつでも得ることができる仕組みをつくる。

目標 2 文化芸術活動への参加を促し、活動の担い手を支援しよう (文化芸術活動への支援)

市民のみなさんが自主的で創造的な文化芸術活動を通じて、個性や創造性を発揮し、生き生きと暮らしていくため、気軽に創造・発表できる場や機会の充実を図ります。

また、文化芸術の創り手への支援を行うとともに、次代の文化芸術の担い手となる子どもたちの文化芸術体験活動を充実させるなど文化芸術活動の裾野を広げる取り組みを進めていきます。

【主な取り組みの例】

- ♣♥ 地域の文化祭や公民館の文化活動など身近なところで市民が気軽に文化芸術活動に参加できる場や機会をふやす。
- ♣♥ 文化芸術活動者が発表、研修、交流する場や機会をふやす。
- ♣♥ 子どもたちが優れた舞台芸術や伝統芸能などにふれ、体験できる機会を充実させる。

目標 3 文化芸術を支える人材を育成し、活動する環境を充実させよう (文化芸術を支える体制づくり)

文化芸術の創り手と受け手（市民）をつなぐアートマネジメント※注1）の充実や、市民のみなさんが行う文化芸術活動や文化芸術によるまちづくりを総合的にプロデュースする役割を担うアートセンター※注2）機能の整備を進めるなど、文化芸術を支えるための体制づくりに取り組めます。

【主な取り組みの例】

- ♣♥ 市民・民間・行政などの参画によるアートセンター機能を整備する。
- ♣♥ 文化芸術を側面から支えるNPOや市民ボランティア等を育成し、支援する。
- ♣♥ アートマネジメントを行う人材を育成し、活用する。
- ♥ 企業等による文化芸術活動の支援をすすめる。
- ♣ 高齢の方や障がいのある方、小さい子どもがいる方など、誰もが利用しやすい文化施設の整備をすすめる。
- ♣ 文化施設間のネットワーク化をすすめ、イベントを共同開催するなど、文化施設それぞれの持つ特長を活かした運営を行う。

※注1）具体的には、ホールや美術館等の文化施設、文化芸術団体などにおいて、公演・展示等の企画・制作、マーケティング、広報等に従事する業務や文化芸術の振興に向けた政策の提言・調査研究、資源（人・モノ・カネ・情報）の仲介等に従事する業務などを行います。

※注2）文化芸術に関わる市民（活動する人、鑑賞する人、支援する人など）が、情報を共有し、交流・連携することで、市民の活力と新たな文化を生み出す場（場所またはその機能）

目標
1熊本城をはじめとした歴史的文化遺産や伝統文化を保存し、
活用しよう（文化遺産の保存・活用、継承）

熊本城をはじめとした数多くの歴史的文化遺産や伝統文化は、熊本の歴史や文化を理解するうえでなくてはならないものです。また、これらは、市民の郷土に対する愛着や誇りを醸成していくものであり、同時に、魅力ある都市づくりの重要な要素となるものです。

文化遺産や伝統文化を保存・活用することにより、新しい文化芸術を創造し、次の世代へ引き継いでいきます。

【主な取り組みの例】

- ♣♥ 公民館や民間団体等による講座の開催など市民が郷土の歴史や文化にふれ、気軽に参加することができる機会を充実させる。
- ♣♥ 子どもたちが熊本の歴史や文化を学ぶ機会を充実させる。
- ♣♥ 「お城まつり」や地域の伝統行事などにおいて、市民が伝統文化・伝統芸能に親しむ機会をふやし、市民の理解をすすめる。
- ♣♥ 熊本城や水前寺成趣園などの歴史的文化遺産を保存・整備し、活用する。
- ♣♥ 城下町の趣を残す町並みや後世に残すべき優れた建造物を保存し、活用する。

目標
2豊かな自然を保全・活用し、水と緑にまつわる文化を
次の世代に引き継ごう（水や緑にまつわる文化の保存と活用）

清らかな地下水と豊かな緑に代表される恵まれた自然は、多くの市民が文化的な要素の一つとして誇りを感じているものであり、市民共有の財産です。こうした自然を生かして、誰もが心豊かに暮らせ、住みやすさを実感できる環境づくりを進めるとともに、後世に伝えていきます。

【主な取り組みの例】

- ♣♥ 「平成の名水百選（水前寺江津湖湧水群・金峰山湧水群）」や「熊本水遺産」等の水文化の保存や活用をすすめる。
- ♣♥ 「くまもと水ブランド」の情報発信をすすめ、「日本一の地下水都市・熊本」の魅力を内外にPRする。
- ♣♥ 熊本城や立田山などの緑地や森林を保全するとともに、緑に親しむ機会を充実させる。
- ♣♥ まちなかにおける木陰づくりや市電軌道敷の緑化など、新たな緑の文化を創出する。
- ♣♥ 豊かな自然に育まれた安全・安心で良質な地域の食材を用いた熊本の食文化の魅力を発信する。



目標
1文化芸術を活かして地域を活性化しよう
(文化芸術を活かした産業やにぎわいの創出)

文化芸術の持つ様々な力は、市民の創造性を育み、地域の魅力や活力を一層高めるとともに、創造的な産業を生み出し、まちのにぎわい創出に結びつきます。市民・民間団体・行政などが相互に連携して、熊本の多種多様な文化資源の魅力を高め、活用することで、文化芸術を活かした地域の活性化に取り組みます。

【主な取り組みの例】

- ♠♥ 地域の歴史や伝統的な文化を活用してコミュニティ（地域社会）を活性化する。
- ♠♥ くまもとの魅力ある文化情報を発信することにより、豊かな文化都市のイメージを高め、国内外からの人や民間ビジネスの誘致をすすめる。
- ♠♥ 「お城まつり」、「みずあかり」、「ストリートアートブレックス」※注3)などの文化イベントを開催し、まちなかのにぎわいを創出する。
- ♠♥ 肥後象がんをはじめとした伝統工芸などの産業を活性化するとともに、文化芸術の創造性を活かして新しい産業を創出する。

目標
2文化芸術を通じた交流をすすめ、新たな文化を創造しよう
(文化芸術による交流の促進、新たな文化の創造)

文化芸術を通じた交流は、それぞれの持つ多様な文化への理解を深めるとともに、自らの文化を再認識し、新たな文化の創造へと発展していく契機となります。

熊本の文化に対する理解を深め、地域や世代を越えた交流を促進し、個性豊かで創意と活力にあふれたまちをめざします。

【主な取り組みの例】

- ♠♥ 国内外において文化交流をすすめるうえでの基礎となる熊本の文化への理解をすすめる。
- ♠♥ 国内外において文化イベントを開催するなど、文化芸術による市民交流をすすめる。

※注3) まちなかを舞台にジャズ、クラシック、大道芸など様々なパフォーマンスを展開し、中心市街地を活性化するプロジェクト



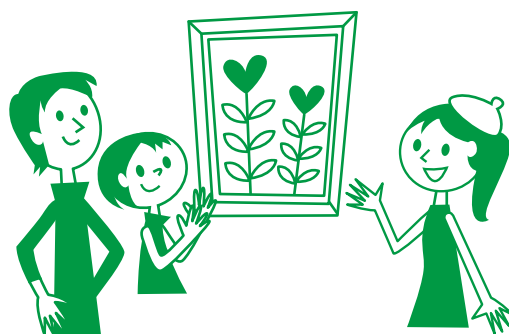
取り組みの推進に向けて

文化芸術は市民自らの手で育てていくものです。地域に根ざした「くまもと文化」の創造を通して、まち全体の「文化力」を高めていくためには、市民、民間団体、地域、企業など様々な活動主体が取り組みの方向性を共有し、それぞれの特性を活かしながら、協働して取り組むことが必要です。

それぞれの主体が、どの分野にどのように関わっていけばよいのか、その方向性を明らかにするとともに、多様な活動の担い手による協働のためのネットワーク化を進めるなど実際の活動に役立てるためのきめ細かな情報提供に努めます。

また、市民への周知・広報に努め、文化芸術の振興はもとより、教育や福祉の充実、産業の活性化、地域の再生などの様々な分野において文化芸術を積極的に活用することで、新たな成果を導き出すというビジョンの浸透を図ります。

なお、本指針に掲げる目標・方向性については、市民・民間団体・地域・企業・行政などの様々な取り組み状況の把握などにより概ね3年毎にその成果を検証し、さらなる取り組みに反映させていきます。



熊本市文化芸術振興指針 概要版

平成22年3月 発行

熊本市市民生活局文化生活部文化国際課
〒860-8601 熊本市手取本町1-1
電話 096-328-2070 FAX 096-355-4443
電子メール bunkakokusai@city.kumamoto.lg.jp